



コミュニケーション部の ACC-18 向け最新情報報告

私は、コミュニケーション・ディレクターに就任して以来、アングリカン諮問評議会に私の最初の部門報告書を提出できることを嬉しく思います。香港の ACC-17 に出席したメンバーは、私の前任者のエイドリアン・ブッチャーが、私への引き継ぎまでに何が起こってきたかを示した「コミュニケーションのダブルアクト」を思い出すことと思います。これは、その当時何が起こりつつあるかを説明するためのものでした。それ以来、世界はコロナウイルスの世界的大流行と全世界規模のロックダウンによって劇的に変わりました。

私は、コミュニケーション・ディレクターを務めてきた間に2つのコミュニケーション戦略を策定しました。最初の戦略である「Finding Our Voice（我々の声を見つける）」は、ロックダウンが始まる前に導入されました。これは、私たちがまだ普通に旅を続けていたときの旅の方向を定めるものでしたが、その後世界の状況が変わったために修正しなければならなくなりました。現在は、私の第2のコミュニケーション戦略である「A shared message with many accents（訛りの多い共有メッセージ）」を実施しているところです。

要約すると、主な変更点は次のとおりです。

- 外部のメディア組織とのコミュニケーションを改善し、他のメディアを通じてアングリカン・コミュニオンとそのメンバーの話を伝えられるようにすること
- 世界中の主教区・管区や布教組織のためにアングリカン・コミュニケーターのネットワークを構築し、それぞれの活動を強化・支援するとともに共通の懸念事項に関するメディア活動とキャンペーンの調整を行うこと

- anglicannews.org と anglicancommunion.org の 2 つのウェブサイト統合し、
アングリカン・コミュニオンショップウィンドウとして機能する新たなアングリ
カン・コミュニオンのウェブサイトを立てること。アングリカン・コミュニ
オン全体からの確実なストーリーにより、新しいコンテンツを常時流せるようにな
り、これが新しいサイトの要となります。

この新たな戦略を実現するための作業は、スタッフ不足と、成功に終わった Lambeth Conference に関わるコミュニケーション活動のサポートに注力したために停滞しています。喜ばしいことに、シニア・コミュニケーション・オフィサーが新たに任命されたことを報告いたします。採用前チェックを経て、彼女は来月から仕事を始めることになっています。これは、コミュニケーション・オフィサー（コンテンツ）であったルーシー・カウプランド氏が昨年初めに辞任したことに伴ない、それに代わって設けられた新たなポストです。

コロナウイルスの世界的大流行により、第 1 のコミュニケーション戦略の実施が妨げられることになりましたが、一方で新たな戦略を生む機会ともなりました。私たちが行おうとしていることの一つは、記者会見をオンラインで行い、そこに世界中のアングリカン・コミュニオンの人々に出てもらうことです。Zoom などの設備により、世界中の人々を飛行機で飛ばすことのコストや不便なく、ストーリーを持つ人々と、そのストーリーを聞きたいジャーナリストをつなぐことができるようになりました。

前回の ACC 会議で約束したとおり、私たちは ACC のメンバーである皆様とのコミュニケーションを改善してきました。皆様は、Anglican Communion Bulletin（アングリカン・コミュニオン会報）を全員お受け取りになっていることと思います。これは皆様と情報を共有するための頻繁に使われているツールです。もしお受け取りになっていない場合は、システムにメールアドレスが確実に登録されるよう手続きしますので、私どもにお知らせください。

最後に、ご注目いただきたい、今後に向けた新たな活動がございます。「Anglican Cycle of Prayer（アングリカン祈りのサイクル）」の次のバージョンがまもなく、9月12日（月曜日）から約3年間発行されます。現在のバージョン「From Aba to Zululand（アバからズールーランドへ）」と同様、新しいバージョンでは、月曜日から土曜日まで1日ごとに各管区について毎週日曜日に順番に掲載されます。この「Anglican Cycle of Prayer」

新版は最初、主教区と管区のリストを掲載するにとどまりますが、新しいウェブサイトが立ち上がったら、データベースにリンクされたバージョンを作り、祈りが向けられている主教区の主教の名前から「Anglican Cycle of Prayer」を誰でも印刷することができるようにする予定です。

ギャヴィン・ドレイク
コミュニケーション部長
2023年1月